

(正解)

問1 文中の傍線 a、e の、漢字には読み方をカタカナで記し、カタカナには漢字を記しなさい。

a 叙事詩      b 収集      c キンモツ      d ブンカツ      e 従来

問2 文中の傍線①「金田一訳では、言葉が生きていないと感じるようになりまして」で、筆者は、なぜそのような気持ちになったのか。本文中から五十字以内(句読点含む)で抜き出しなさい。

対象に何の価値も共感もない干からびたような記述であるばかりか、明らかな偏見、誤ちに満ち満ちていた

問3 文中の X に、「主体」の対義語を記しなさい。

客 体

問4 文中の傍線②「フチとアイヌ語を語りあうなかで、語り手と聞き手がひとつになることから生まれる感動をしばしば味わいました。このような一体感は、人間同士にあるばかりではありません」で、筆者は、何ができると考えましたか。もつとも総括的に述べた箇所を、本文中から四十字以内(句読点含む)で抜き出しなさい。

これまであまりにも切り離されてきた人間と自然の関係を、もう一度新しく見直すこと

問5 文中の傍線③「森羅万象」の意味について、簡潔に説明しなさい。

宇宙空間に存在する一切のもの (※このような内容であればよい)

問6 筆者は近代科学の方法について、どのように感じていますか。文中の言葉を用いて、簡潔に記しなさい。

自然のいのちを切り刻み、殺傷していくような研究方法は間違っている (※このような内容であればよい)

問7 筆者がアイヌ語を通して発見した世界について、本文中の言葉を用いて、簡潔に記しなさい。

人間同士や人間と動物、自然と森羅万象において、共感や交流は起こりえる (※このような内容であればよい)